

全国協議会 ニュース

2024年4月1日発行 第380号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：梅田正造 題字：仲田順和
https://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

東京マラソン 2024 開催 チャリティランナーとの交流

全国協議会は3月3日(日)に開催された東京マラソン2024に寄付先団体として参加しました。チャリティランナーの皆様にご支援に対する感謝を伝えるプログラムで交流を図りました。また、3日間行われた東京マラソンEXPO 2024では骨髄バンクの啓発も行いました。



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団

EXPO 2/29 (木) ~ 3/2 (土)

ランナーがアスリートビブス(ゼッケン)を受け取る東京ビッグサイトの東京マラソンEXPO 2024会場でブースを設営。チャリティランナーの方にオリジナルプレゼントを渡し、感謝を伝えました。また、背中に患者さんへのメッセージを書いたゼッケンをつけて走ってほしいとお願いしたところ、喜んで応じてくださいました。チャリティランナーは元患者さんや患者ご家族、医療関係者の方も多く、患者さんへのメッセージも温かい思いにあふれていました。一般の方もお立ち寄りくださり「ドナー登録はどこで出来るの」「献血回数280回！」など骨髄バンクに関心を寄せられました。

「ドナーに選ばれたために今回の出場は見送ります。今回はドナーとして患者さんを応援するけれども、来年は全国協議会のチャリティランナーとして患者さんにエールを送りたい」とおっしゃってくださる方もいらっしゃいました。

沿道応援 5箇所

骨髄バンクのノボリを持って沿道応援。3万7千人程のランナーが駆け抜ける中、協議会のチャリティランナーを見つけるのは至難の技です。それで

もノボリを見つけたランナーさんから声を掛けてくださったり、背中メッセージゼッケンを見せながらさわやかに手を振っていただきました。こちらからも骨髄バンクのタスキをかけたランナーに声援を送りました。

さらに、大会後ランナーさんから、「沿道応援で声を掛けていただいたことが力になった」とメールを頂きました。

チャリティラウンジ

フィニッシュ地点近隣の国際ビルリファレンス会議室にラウンジを設営し、理学療法士、アスレチックトレーナーによるマッサージや軽食サービスなどを実施。会場では「いのちの輝き展」を開催し、待ち合わせのご家族も大勢来てくださったのでランナーの到着を待つ間にご鑑賞いただきました。元患者の方はメッセージを一つ一つじっくり読み涙していました。

梅田理事長からランナー一人ひとりに感謝状を手渡すと、お疲れにもかかわらず素敵な笑顔を向けてくださいました。

EXPOでも、沿道応援でも、ラウンジでも、対応いただいたボランティアの皆様のおもてなしの気持ちがランナーに伝わったと思います。皆様、最

高の笑顔を見せてくださいました。

千羽鶴チャレンジ



©東京マラソン財団

全国の皆様から患者さんへの思いを込めて折っていただいた折鶴が協議会に集まりました。その数は千羽をはるかに上回り、なんと1万羽近くに達しました。ありがとうございました。チャリティラウンジでも、ランナーやご家族の方々が積極的に折っていただきました。5月のボランティアの集いでお披露目しますので、お楽しみに！

ボランティアの集いにご参加ください

『もう一人の私～あなたに届けるメッセージ』と題して、骨髄バンクを介して骨髄提供を受けた全国の患者さんに登壇いただきドナーさんに向けたメッセージを披露していただきます。三戸素子さん、小澤洋介さん、山本雅也さんによる音楽もお楽しみいただけます。

2024年5月25日(土) 13時 開会
角筈区民ホール(新宿区西新宿4-33-7)
入場無料・申込不要

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

(MONTHLY JMDF(3月15日発行)より抜粋)

■日本骨髄バンクの現状(2024年1月末現在)

	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,072	2,654	553,895	956,542
患者登録者数	183	187	1,652	68,392
採取数	骨髄	55	73	26,301
	末梢血幹細胞	25	28	2,090
	合計	80	101	28,391

2023年4月から統計基準が移植件数から採取件数に変更

■2月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム/862人、献血併行型集団登録会/1,702人、集団登録会/0人、その他/90人

■2月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,248人/20代 92,679人/30代 136,241人
40代 214,203人/50代 106,524人

■2月の20歳未満の登録者238人

(注)数値は速報値のため訂正する場合があります。

プルデンシャル生命保険株式会社 箱根駅伝沿道応援ボランティアでの寄付金贈呈式開催



写真右：首都圏第二支社営業所長 河合康弘様

プルデンシャル生命保険株式会社の皆様は、2024年のお正月、4年ぶりの箱根駅伝沿道で「骨髄バンク」のノボリを持ってお正月も病室や自宅療養する患者さんに向けてエールを送ってくださいました。120人の社員やご家族にご参加いただき、参加人数に応じた寄付金を頂戴しました。

2月8日(木)プルデンシャル生命保険株式会社からの寄付金贈呈式が都内港区南青山の同社セミナールームで開催されました。多くの社員さんにご参加いただけるよう、首都圏第二支社、首都圏第五支社、首都圏中央支社、東京中央支社の4支社合同の形で開催していただきました。

開会のご挨拶では東京中央支社長から、「ドナーの経済的な負担を軽減できれば、ドナー登録者を増やせることに貢献でき、患者さんを救うことができるとの考えで始まった」と、ドナーニーズベネフィットのサービスを日本で初めて提供するに至ったお話がありました。

全国協議会梅田正造理事長の挨拶ではご支援への深い感謝を伝え、自身の骨髄提供の体験談の中で、提供した患者さんは今ではお集まりの社員の皆様くらいの年齢で、どこかで活躍されているのではないかと語りました。大谷貴子副会長からは、自身が移植を受けた名古屋で知り合った方がドナーニーズベネフィット開発の立役者で、熱い心で金融庁を動かされた方だと語りました。

頂戴したご寄付は佐藤きち子記念造血細胞移植患者支援基金でお受けし、移植を受ける患者さんの経済的支援に使わせていただきます。いつも患者さんを思い、全国協議会の活動をご支援くださるプルデンシャル生命保険株式会社の皆様に心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

東海北陸ブロックセミナー開催報告

3月9日(土)、静岡県総合社会福祉会館シズウェル(静岡市)にて開催しました。集合形式は5年ぶりですが、遠方の行政関係者にもご参加をお願いする意図でZoomを併用したHybrid形式で行いました。

4つの地方行政(政令市を含む)、2



つの赤十字血液センター、4ボランティア団体の計20名のご参加を頂きました。なお、地方行政からは当ブロック7県のうち6県から資料報告を頂きました。

メインの基調講演には「骨髄バンク」の発足にご尽力された静岡県赤十字血液センター所長の北折健次郎様をお願いし、その大きなエネルギーに参加者は感銘を受けたものと思われま。一方、そのエネルギーに報いきれない当エリアの対象人口当りのドナー登録状況には、改めて行政・日本赤十字社・ボランティア団体の連携の重要性を知

られました。

各地の活動報告からは若年者ドナー登録促進活動における苦悩、ドナー助成制度およびドナー休暇制度導入が進められる中、その周知や運用レベルでの検証の必要性も示唆されておりました。

セミナー終了後の懇親会は諸事情もあり10数名の参加となりましたが、セミナー時の緊張感からも解放されて活発な情報交換がなされており、懇親会の重要性も改めて感じた次第です。

最後に「静岡骨髄バンクを推進する会」の皆様からの厚いご支援ご協力に深謝いたします。

(東海北陸担当理事 鈴木敏生)

白血病フリーダイヤル相談員研修会開催

全国協議会では、血液疾患の患者さんの電話相談窓口『白血病フリーダイヤル』を1996年7月から常設し、現在第2・4土曜日に実施しています。相談を受ける相談員は、現在は健康を取り戻した患者やその家族を始め、医療情報に精通したボランティアが手弁当で対応しています。

本来であれば、相談員の皆さんの学習や交流の場を設定するのですが、コロナ拡大の影響で集合研修を中止していました。ようやく2月17日(土)

に相談員学習会として、埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授、大西秀樹先生をお招きし「血液疾患患者さんが抱える心の問題とその対応」と題して講演をお願いし開催しました。

重篤な病気の告知を受ければ精神的に落ち込むが時間と共にその回復度合いが人それぞれで、がん患者の2人に1人は回復が長引き、うつや精神疾患と診断されること。精神疾患でも痛い、食べられない、眠れないなど肉体的な症状が現れること。精神疾患の治療を

適切に行わないと、がんや白血病の治療に立ち向かう気力がなくなり重篤な症状になることなど、事例を示しながら分かりやすく話していただきました。

講演後には、長く医療の現場で看護の仕事をしてこられた尾上裕子さんの体験談も相談員の皆さんと共有しました。

相談員研修会に参加された皆さんからは、このような場を定期的に持つことが重要で貴重な時間だったと感想を頂きました。今後も継続して対応していくべきだと、改めて感じました。

(担当理事 若木換)

つなげる命、つながる命 映画『みんな生きている～二つ目の誕生日～』上映会開催

2月18日(日)、名古屋市港文化小劇場にて「つなげる命、つながる命 映画『みんな生きている～二つ目の誕生日～』上映会」を開催しました。4年ぶりのリアル開催となったあいちの会主催イベント、ご来場いただいた皆様に感謝申し上げます。と同時にボランティアの皆様にお会いできたことを本当に嬉しく思いました。

この映画は患者さん、患者さんを取り巻く環境、そしてドナーさんやご家族の様子を表現しており、様々なことを考えさせられる映画となっています。上映後はこの映画を企画、原案、主演された樋口大悟さん、提供経験者、そしてそのご家族にご登壇いただ



き、ディスカッションを行いました。樋口さんからは発病から現在に至るまでのお気持ち、そして「今があるのはドナーさんがいらしたから」と感謝の気持ちが伝えられました。

ドナーさんからは提供に迷いがあったことを伝えられた後、提供時入院中の子どものお世話について考えて

しまった、結果、ご主人がお休みをとり父子でお留守番、安心して提供出来たと話してくださいました。今までドナー休暇制度には目を向けていましたが、提供時の家族の休暇まで配慮出来る優しい社会に変わっていただけるよう、今後の活動を提案いただけたような気がしました。

終了後のアンケートには「骨髄バンクのことや患者さん、ドナーさんのことがよくわかりました」「患者さん、ドナーさん、ご家族のお気持ちが心に響きました」などメッセージをいただきました。患者さんやドナーさんのことを知っていただき「骨髄バンク」を知っていただく。私たちが目指している活動ができた一日となりました。

(あいち骨髄バンクを支援する会
水谷久美)

歩実さん バンクドナーの移植を受けて元気に登校

1年前私達は娘の骨髄ドナーが見つからず、厳しい状況でしかありませんでした。家族からのHLA不一致移植も検討していましたが、移植後のGVHDを考慮し、ギリギリまで骨髄バンクからのドナー提供を待つことにしていました。娘の危機が迫るクリスマス直前、ドナー提供者から了承をいただきました。私達夫婦は『ありがとう』と心から感謝をしたのと同時に、『サンタクロースは本当にいるんだね』って会話していたことを思い出します。

翌年2月に骨髄移植をして1年少々が経過致しました。

娘はほとんどGVHDを発症することがなく順調に回復しており、免疫抑制剤の量もだいぶ少なくなりました。退院直後の生活では日差しを避ける日々を過ごしておりましたが、小学校へも登校し、友達と仲良く小学校生活を過ごしております。長期の入院生活によってベッド上での楽な生活から普段の生活への脱却に時間を要しました。勉学についてもやっと学年に追いついて来ており、算数の授業が楽しいと言っております。しかし外遊びが大好きだった娘にとって紫外線を回避する遊びは物足りなさがあり、夫婦で様々な屋内施設を調べるといった別の

苦労もありました。現在日差し制限もだいぶ緩和されてきております。そのおかげもあり、晴天日は避けて完全防備ではありますが、家族4名でスキー旅行へと行けるようになりました。娘息子共にパウダーラウンを楽しめる程ジャンキー野郎へと変貌し、笑顔で子供達が『楽しい!!』と声挙げて楽しんでいる様子を見てみると、生きてて本当良かったと夫婦で涙が止まりませんでした。

最後になりますが、骨髄を娘に提供いただいた方の勇気に心から感謝尊敬いたします。また、医療関係者の方々、全国の骨髄バンクボランティアの方々、千葉赤十字血液センターの方々、



そして、娘のために骨髄バンクに登録及び協力いただいた方々に感謝の言葉を申し上げます。

本当にありがとうございました。

(父：川西傑司)

シリーズ 「ありがとう桜」②

2008年12月に日本骨髄バンクを介した移植が10,000例、さい帯血移植が5,000例に到達しました。そのことを記念して提供いただいたドナーさんに感謝し、また、移植を受けられなかった患者さんや闘病中の患者さんへ思いを寄せて、2009年初頭に全国各地の医療施設、自治体等にご協力いただき桜の苗を植樹し、今年で15年になりました。

今号は徳島県立蔵本公園に植樹した桜で、写真の奥にチラリと見える建物は、徳島大学病院です。たくさんきれいな花が



(3月9日撮影)

移植に立ち向かう患者さんを見守ってくれています。

各地のたより

各地のたよりを写真を添えてお寄せください。

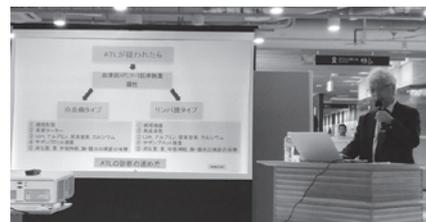
鹿児島

いのちをつなぐコンサート & 医療講演会イベント

鹿児島島の繁華街天文館に大型商業施設がオープンし、多くの人が集まる中核施設になっています。そこに集まる若い人をターゲットとして学生の春休み・夏休みを利用した「コンサート+医療講演会」を昨年からはじめました。2月18日(日)に今回で5回目となるイベントを開催しました。当会の活動

を支援してくれている声楽家中村かし子氏が県内の音楽家に呼びかけてのコンサートと医療講演会、ドナー経験者・元患者の体験談、コーディネーターの話などと毎回話題を変えてのイベントです。コンサートは声楽・ピアノ・ギター等によるクラシック・ポピュラー・ディズニー音楽など親子連れも楽しめ、講演会は血液難病や骨髄移植について学ぶことができる内容となっています。

今回は九州・沖縄に多い成人T細胞白血病(ATL)について、鹿児島^{あきた}の今村総合病院名誉院長宇都宮 興 医師(「白血病と言われたら」の成人T細胞



白血病の項執筆者、当会顧問)の医療講演会及び高校生時代に移植を受け現在小学校の教員として元気に活躍している元患者の体験談が主な内容でした。ATLは鹿児島ではキャリアも多いことから活発な質疑が交わされ、関心の高さがうかがわれました。

(かごしま骨髄バンク推進連絡会議 大田耕一郎)

北海道

チャリティー「春待ちコンサート」開催



北海道骨髄バンク推進協会は、2月29日(木)夜、札幌コンサートホール Kitara で、通算22回目となるチャ

リティコンサートを全国協議会共催事業として開催しました。

今回は、オペラで活躍中のソプラノの倉岡陽都美さんと、ピアノや指揮で高い評価を受けている鎌倉亮太さんによるジョイントリサイタルです。オペラのアリアを交えた名曲による美しい演奏で会場は心温まる雰囲気でした。

また、ロビーでは、札幌では久々となる「あやちゃんの贈りもの展」も併

せて開催し、たくさんの方が熱心にご覧になり、その短い生涯に思いをはせていらっしゃいました。

このコンサートの収益は、佐藤さち子基金と淳彦基金への寄付、ボランティア活動の財源に充てることができました。

快くご出演を引き受けてくださった倉岡さん、鎌倉さん、ご来場いただいたお客様、開催に向けてご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

(北海道骨髄バンク推進協会)

神奈川

横浜医療講演会、個別相談会開催



神奈川骨髄移植を考える会の新会員として、初めて活動に参加させていただきました。事前のZoom打合せでは、運営にあたっての役割分担等、諸準備の様子を聞くことができました。

3月16日(土)の当日はお天気にも恵まれ、会場の神奈川県総合薬事保健センターには個別相談会に参加予定の方も全員来場されました。

医療講演会では済生会横浜市南部病院の藤田浩之先生が再生不良性貧血について、横浜市立大学附属病院の萩原真紀先生が骨髄異形成症候群について、診断から治療の専門的な内容まで講演いただきました。参加者の方々に

とって、とても貴重な機会だったのでと思います。熱心にメモをとられるお姿もありました。

国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院の和氣敦先生の造血幹細胞移植についての講演は、移植の種類、適応、前処置、移植後のフォローアップ等、多くのスライドでの講演が足早に進み

終演となりました。実際に移植がどのように行われるのか一端を知ることができ、とても有意義な時間となりました。今後のBMT 神奈川の活動に活かしていけたらと思います。初参加でしたが温かく迎えていただき、不安なく活動をスタートすることができました。(神奈川骨髄移植を考える会 大森ひろみ)

心からのご寄付に感謝申し上げます ●2月21日～3月20日(敬称略)

当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般		現金 130,000円	志フェス	現金 478,826円
藤波 敬子	現金 10,000円	樋田 真由美	現金 350,000円	株式会社 THINK フィットネス
佐藤 百合子	現金 10,000円	万々 宏	現金 100,000円	現金 542,739円
飛田 行康	現金 10,000円	日根 和美	現金 10,000円	レンブラントホテル東京町田
小泉 孝	現金 5,000円	竹田 幸子	現金 20,000円	現金 13,962円
竹田 幸子	現金 5,000円	本田 真奈美	現金 5,000円	株式会社カンセキ若草店
クスミ ケンジ	現金 100円	塩谷 泰人	現金 1,000円	現金 2,462円
齋 京子	切手 8,400円	●募金箱		株式会社カンセキ西川田店
●佐藤さち子造血幹細胞移植患者支援基金		株式会社 マルト商事	現金 75,046円	現金 6,092円
ブルデンシャル生命保険株式会社		現金 120,000円	大原記念倉敷中央医療機構	現金 27,603円
北海道骨髄バンク推進協会		現金 8,060円	●つながる募金	
			現金 16,300円	

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754 普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。